学校番号	T3009

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新　高校の数学Ⅰ（数研出版）						
副教材等	自作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生の数学Ⅰでは、主に小学校・中学校の内容を学び直します。どれも高校の数学にとって欠かせない内容ですのでしっかりと身に付けていきましょう。
・授業は個々の習熟度にあわせて行いますので、自分自身が苦手とする内容を重点的に学習することができます。
・分からない箇所があれば積極的に質問し、苦手をひとつずつ克服していきましょう。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】
数と式及び２次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式及び２次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したり、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察したりすることができる。	数学のよさを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基礎力充実	小学校・中学校における算数・数学の内容を復習する。特に計算能力の習熟を図り、数学的教養の習得のみならず、工業科で必要とされる数学的能力を充実させるよう指導する。習熟度別に授業を行い、プリント学習を進める。具体的には、整数の加減乗除、分数の演算、正負の数の演算、文字式、方程式、連立方程式、平方根の計算等である。	個々の学習到達度を詳細に把握し、習熟度別に学習した到達点を評価する。 一例として a:整数・小数・分数などの四則計算を素早くかつ正確にできる。 b:学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。 c:どのような技能を習得することが必要かを自ら判断し、適切な課題に主体的に取り組もうとしている。 などが挙げられる。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
	第1章　数と式	第1節　数と式の計算	a:乗法公式、因数分解の公式の意味を理解するとともに、式を目的に応じて変形することができる。 b:学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。 c:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、文字を用いて数学的に表現しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
		パフォーマンス課題① 「因数分解を作問してみよう！」	b:作問した問題の解法と、なぜその問題にしようと思ったかをわかりやすく表現している。 c:様々な因数分解の手法に関心を持ち、それを考察し作問しようとしている。		発表 ワークシート	ワークシート
		第2節　1次不等式	a:不等式、不等号の意味を理解し、1次不等式の解を求めることができる。 b:不等式の理解を深め，式を多面的に捉えて問題を考察することができる。 c:日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
		パフォーマンス課題② 「身の回りに用いられている1次方程式・1次不等式を見つけよう！」	b:身の回りにあるものがどのような方程式・不等式で表されているか、またなぜその題材を取り上げようと思ったかをわかりやすく表現している。 c:方程式・不等式に関心を持ち、身の回りでどのように用いられているかを積極的に見つけようとしている。		発表 ワークシート	ワークシート

後期	第2章　2次関数	第1節　2次関数のグラフ	a:1次関数や2次関数のグラフの特徴について理解し、関数のグラフをかくことができる。 b:関数の式とグラフを比較することで、式のどの値がグラフの形をどのように決定しているのか考察することができる。 c:2次関数とそのグラフの性質や特徴について関心をもち、それらを2次関数の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
		第2節　2次関数の値の変化	a:2次関数のグラフと関数の値の変化における基本的な概念を理解し、最大値や最小値、2次方程式・2次不等式の解を求めることができる。 b:日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり考察したりすることができる。 c:2次関数とそのグラフを用いることの有用性を認識し、2次方程式・2次不等式の考察に活用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 授業プリント	授業プリント
		パフォーマンス課題③ 「身の回りに用いられている関数を見つけよう！」	b:身の回りにあるものがどのような関数で表されているか、またなぜその題材を取り上げようと思ったかをわかりやすく表現している。 c:関数に関心を持ち、身の回りでどのように用いられているかを積極的に見つけようとしている。		発表 ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度